

3. 初めて社会に出た時の仕事や働き方に対する希望と初職の状況

(1) 初めて社会に出た時の仕事や働き方に対する希望

Q2-3. あなたが学校を出て初めて社会に出た時、将来の仕事や働き方についてどのように考えていましたか。(それぞれひとつずつ)

管理職として、組織の経営や管理に携わりたい

特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい

仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい

自分自身で独立して仕事をしたい

学校を出て初めて社会に出た時の、将来の仕事や働き方に対する希望を性別にみると、「管理職として、組織の経営や管理に携わりたい」については、そう思った計（「そう思った」と「どちらかといえばそう思った」の合計）が、男性は40.9%であるのに対し、女性は14.5%となっている。

「特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい」については、男性はそう思った計が75.2%であるのに対し、女性は63.5%となっている。

「仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい」については、男性はそう思った計が49.5%であるのに対し、女性は42.9%となっている。

「自分自身で独立して仕事をしたい」については、男性はそう思った計が34.5%であるのに対し、女性は19.1%となっている。

図 3-1 初めて社会に出た時の仕事や働き方に対する希望
(1 管理職として、組織の経営や管理に携わりたい)

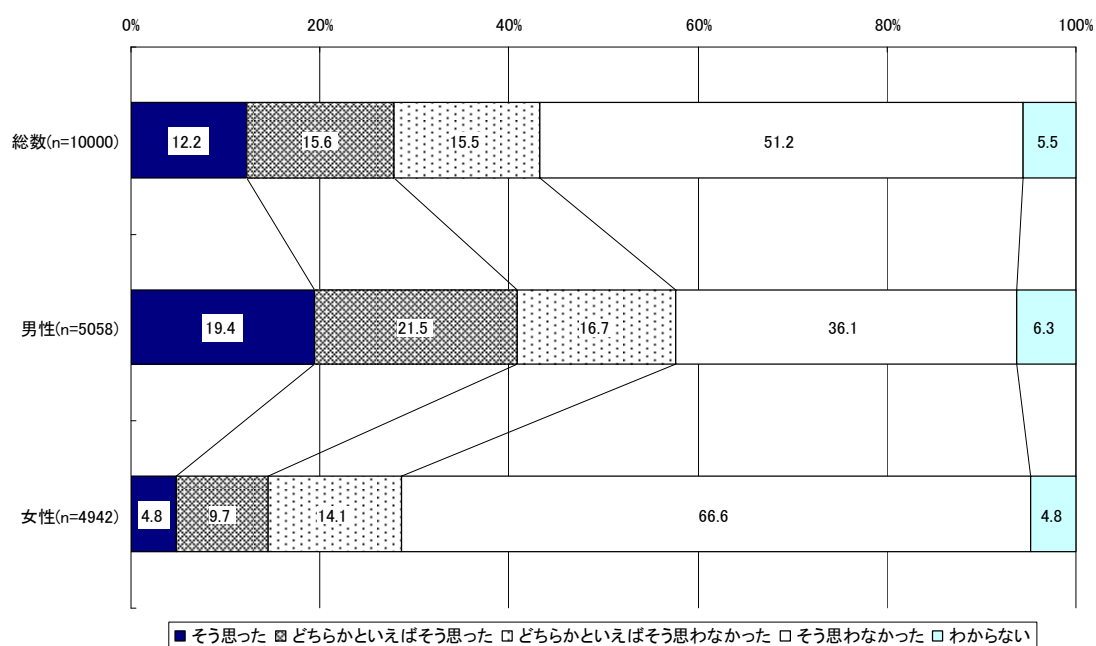


図 3-2 初めて社会に出た時の仕事や働き方に対する希望
(2 特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい)

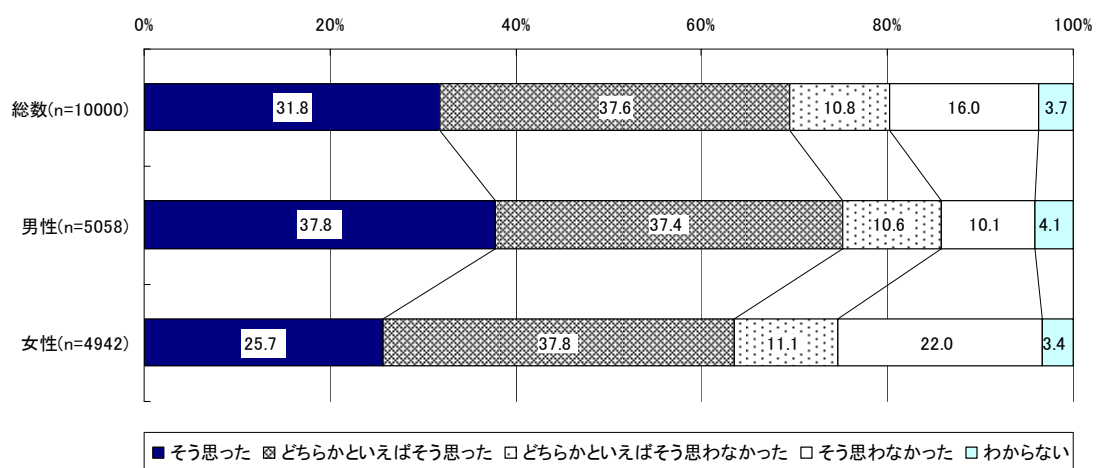


図 3-3 初めて社会に出た時の仕事や働き方に対する希望
(3仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい)

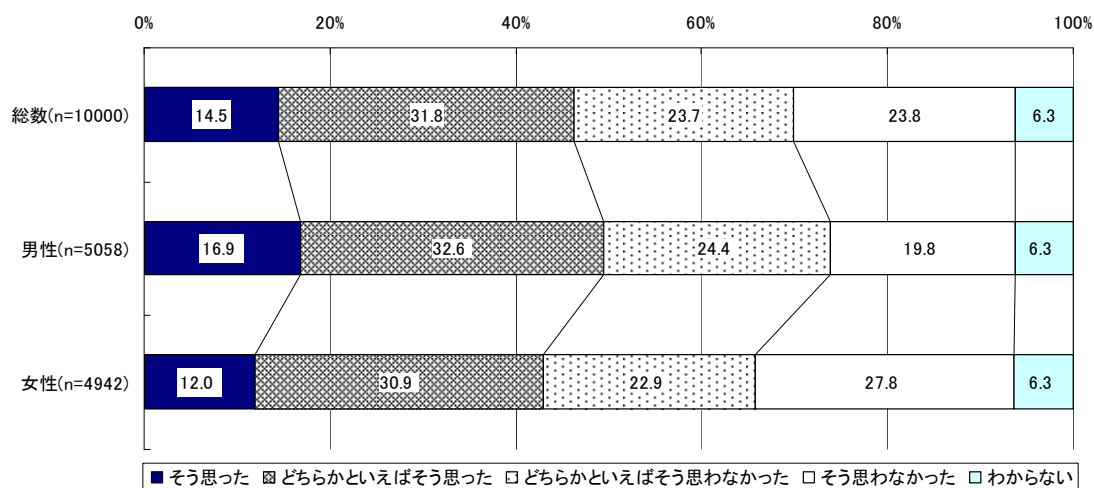
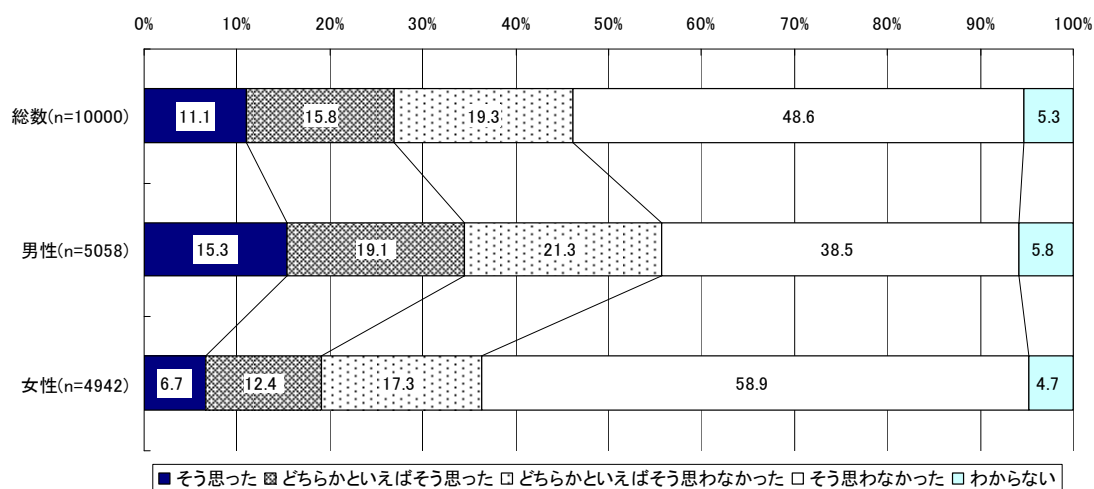


図 3-4 初めて社会に出た時の仕事や働き方に対する希望
(4自分自身で独立して仕事をしたい)



(2) 初職の就業形態

ここからは、初めて仕事についてからの5年間で、最も長い期間勤務された勤め先を、「A社」として、そのA社での就業状態についてお聞きします。自営の場合は従事した事業、派遣社員の場合は派遣先の状況についてお答えください。

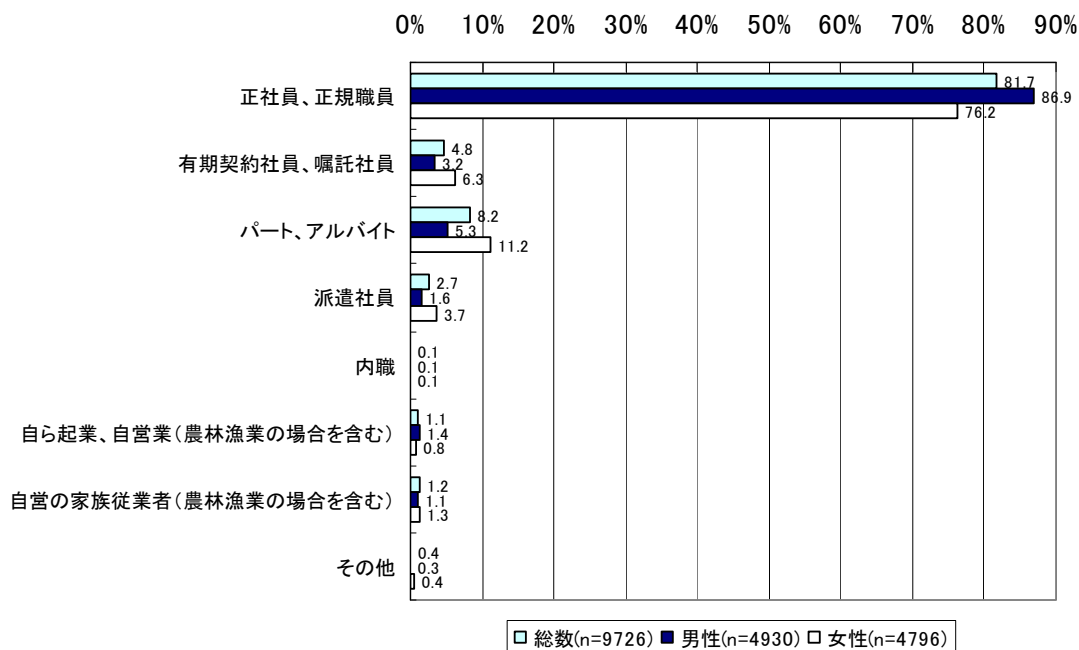
現在も「A社」で働いている方は、初めて仕事についてからの5年間のことを「A社」と考えてお答えください。

なお、学校を出て初めて仕事についてからまだ5年経っていない方は、これまで一番長く勤務された勤め先を「A社」と考えてお答えください。

Q3-1. あなたのA社での就業形態はどれでしたか(どれですか)。就業形態が途中で変わった方は最も長い期間従事した就業形態をお答えください。(ひとつだけ)

学校を出てから仕事についたことがある人(9726人)に対して、初職(初めて仕事についてからの5年間で、最も長い期間勤務した勤め先。以下同じ。)での就業形態を聞いた。性別にみると、男女とも、「正社員、正規職員」が最も多く、男性で86.9%、女性で76.2%となっている。

図 3-5 初職の就業形態



(3) 初職が正社員・正規職員ではなかった理由

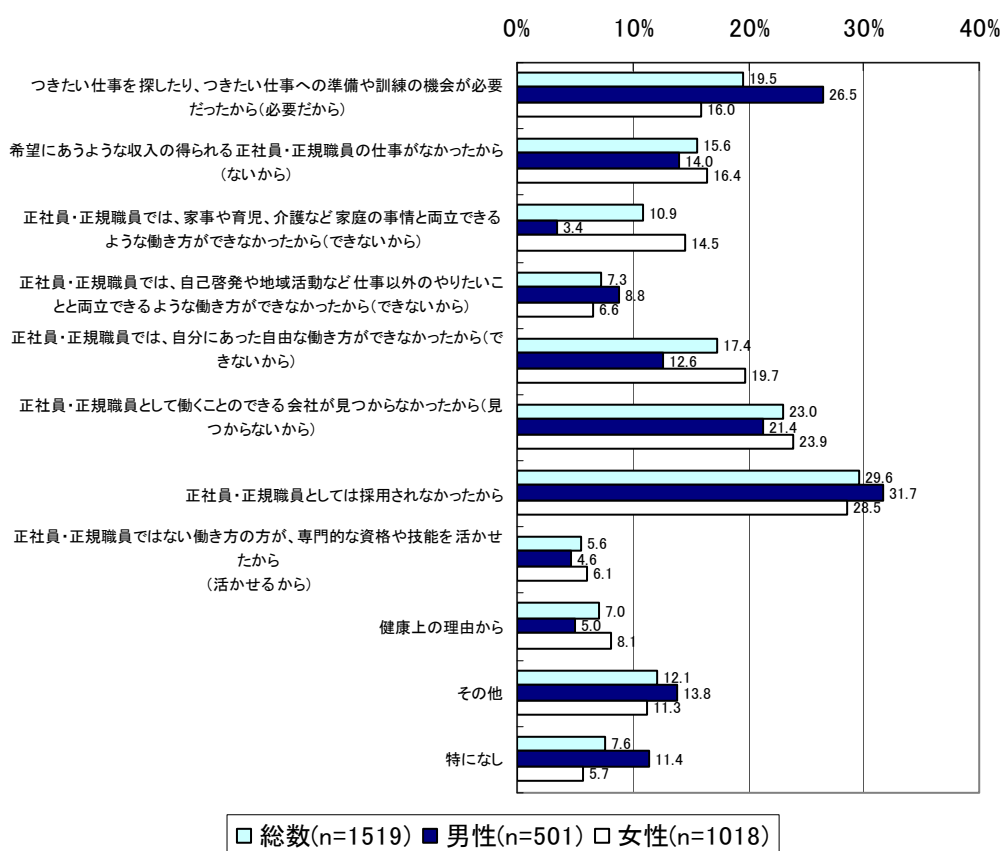
【Q3-1 で「有期契約社員、嘱託社員」「パート、アルバイト」「派遣社員」を選択した方のみ】

Q3-1SQ1. あなたがA社で正社員・正規職員ではなかった(正社員・正規職員ではない)主な理由は何ですか。(いくつでも)

初職の就業形態が、有期契約社員、嘱託社員、パート、アルバイト、派遣社員のいずれかであった人(1519人)に対して、初職が正社員・正規職員ではなかった主な理由を聞いた。性別にみると、男性では「正社員・正規職員としては採用されなかったから」が最も多く 31.7%であり、次いで、「つきたい仕事を探したり、つきたい仕事への準備や訓練の機会が必要だったから(必要だから)」が 26.5%、「正社員・正規職員として働くことのできる会社が見つからなかったから(見つからないから)」が 21.4%となっている。

女性では、「正社員・正規職員としては採用されなかったから」が最も多く 28.5%となっており、次いで、「正社員・正規職員として働くことのできる会社が見つからなかったから(見つからないから)」が 23.9%、「正社員・正規職員では、自分にあった自由な働き方ができなかったから(できないから)」が 19.7%となっている。

図 3-6 初職が正社員・正規職員ではなかった理由

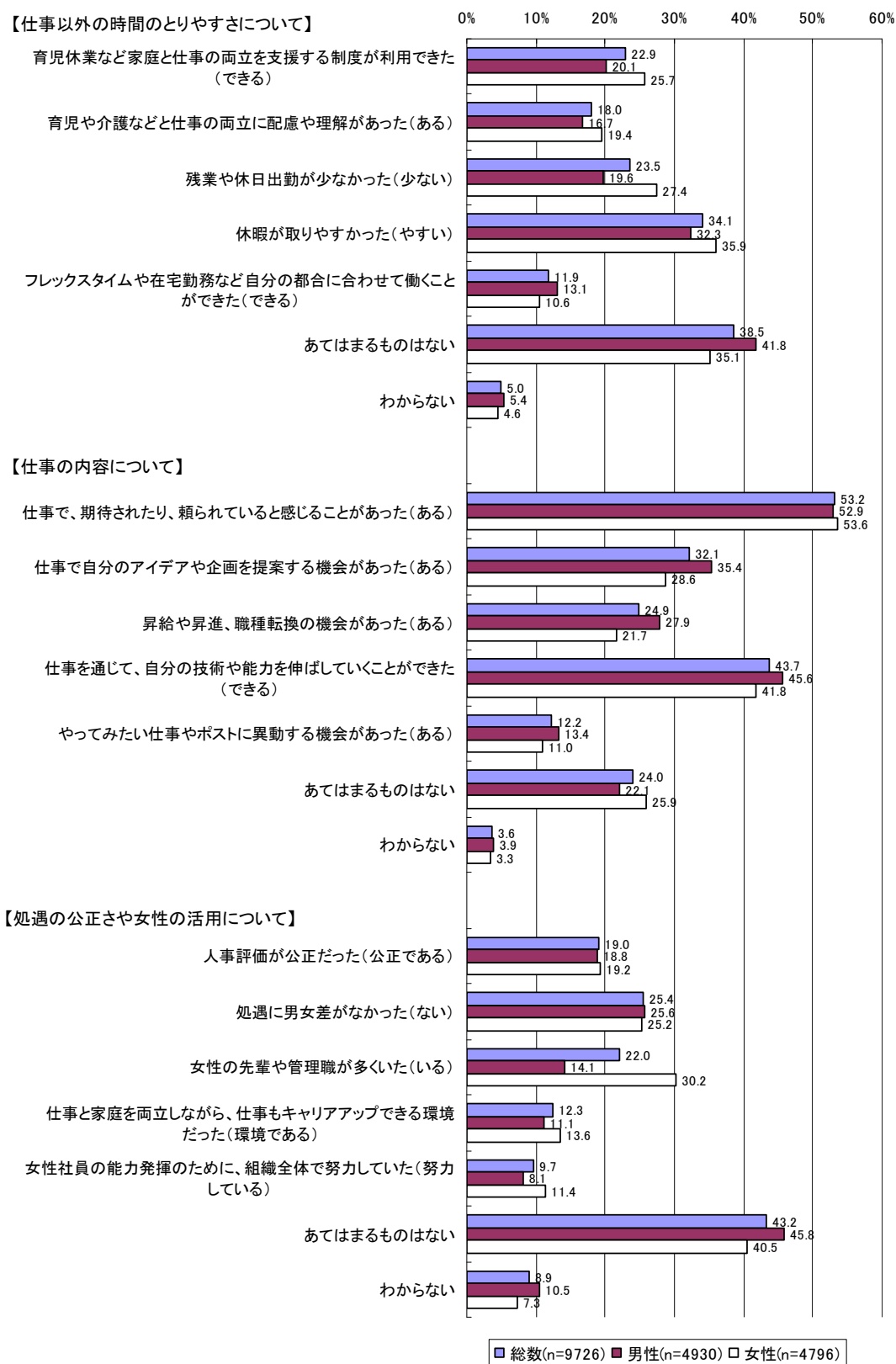


(4) 初職の勤め先の状況

Q3-4. A社の状況としてあてはまるものは、どれでしたか(どれですか)。(それぞれいくつでも)

学校を出てから仕事についていたことがある人(9726人)に対して、初職の勤め先の状況について聞いた。性別にみると、仕事以外の時間のとりやすさについては、「育児休業など家庭と仕事の両立を支援する制度が利用できた(できる)」、「残業や休日出勤が少なかった(少ない)」は男性よりも女性の方が高く、「あてはまるものはない」は女性よりも男性の方が高くなっている。仕事の内容については、「仕事で自分のアイデアや企画を提案する機会があった(ある)」、「昇給や昇進、職種転換の機会があった(ある)」で男性の方が高くなっている。処遇の公正さや女性の活用については、「女性の先輩や管理職が多くいた(いる)」は女性の方が高く、「あてはまるものはない」は男性の方が高くなっている。

図 3-7 初職の勤め先の状況

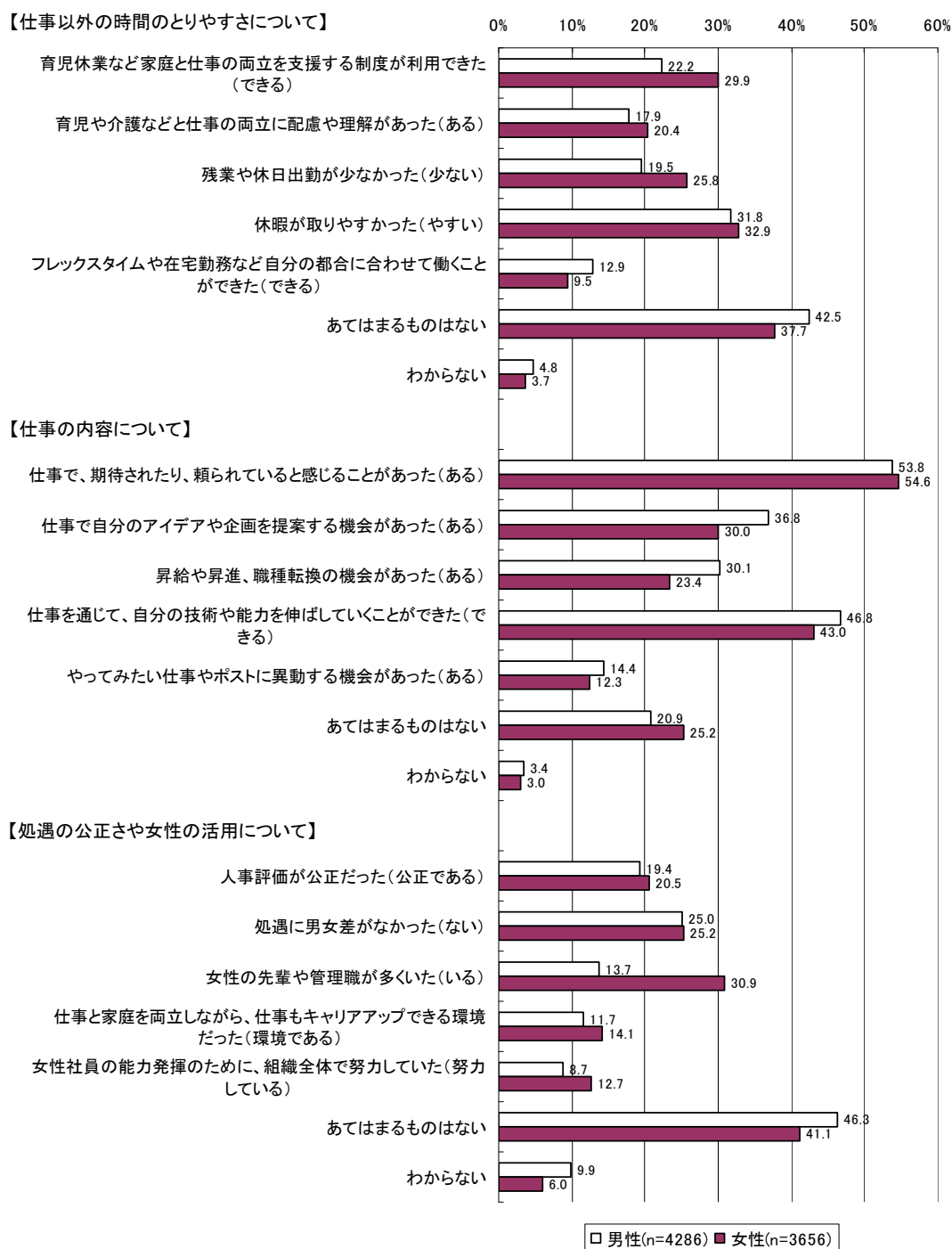


初職の勤め先の状況を初職の就業形態と性別にみると、正社員、正規職員では、仕事以外の時間のとりやすさについては、「育児休業など家庭と仕事の両立を支援する制度が利用できた(できる)」、「残業や休日出勤が少なかった(少ない)」は男性よりも女性の方が高くなっている。

仕事の内容については、「仕事で自分のアイデアや企画を提案する機会があった(ある)」、「昇給や昇進、職種転換の機会があった(ある)」で女性よりも男性の方が高くなっている。

処遇の公正さや女性の活用については、「女性の先輩や管理職が多くいた(いる)」は女性の方が高く、「あてはまるものはない」は男性の方が高くなっている。

図 3-8 初職の勤め先の状況[性別 初職が正社員、正規職員]

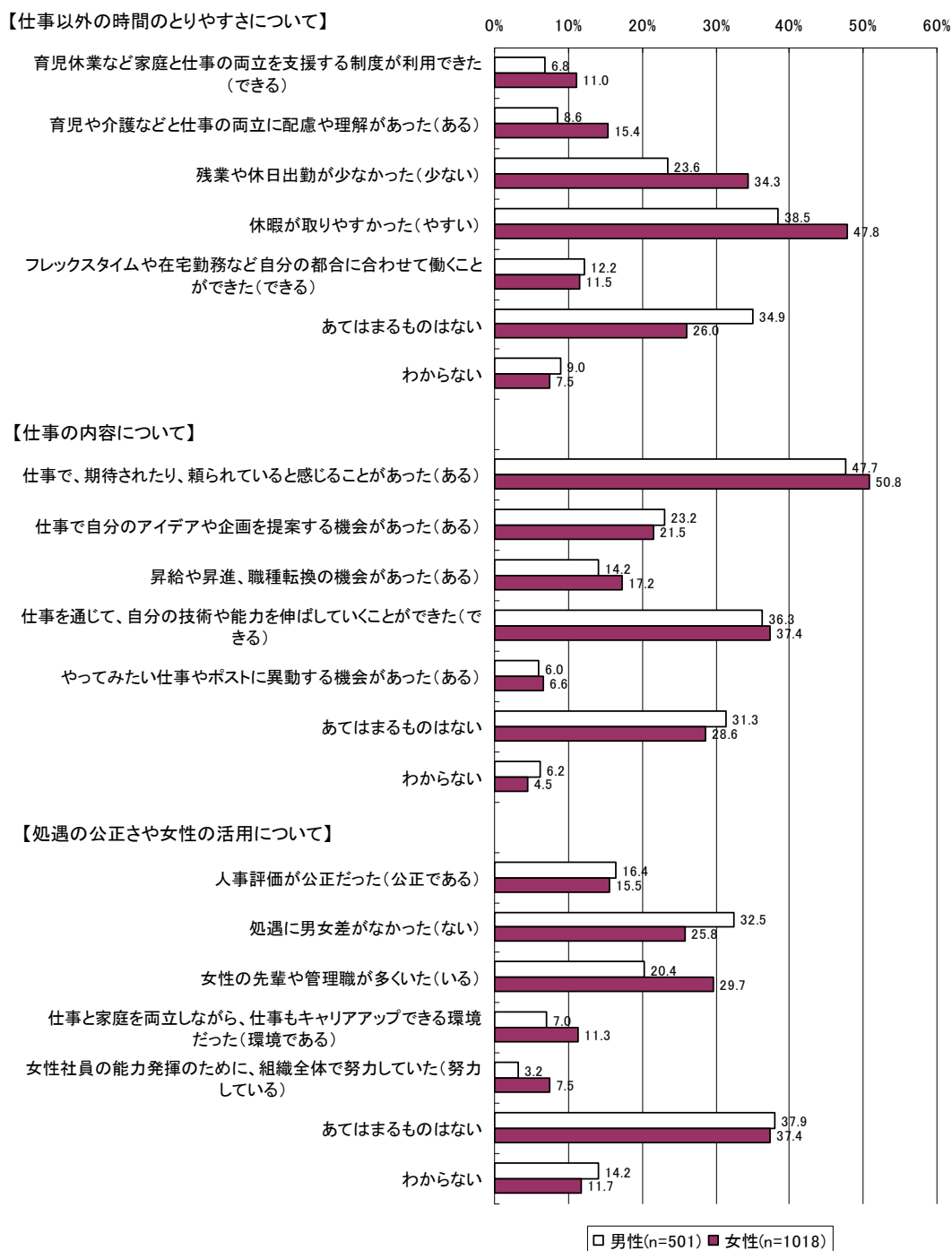


初職の勤め先の状況を、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員について、性別にみると、仕事以外の時間のとりやすさについては、「育児や介護などと仕事の両立に配慮や理解があった(ある)」、「残業や休日出勤が少なかった(少ない)」、「休暇が取りやすかった(やすい)」は男性よりも女性の

方が高くなっており、「あてはまるものはない」は女性よりも男性の方が高くなっている。

処遇の公正さや女性の活用については、「処遇に男女差がなかった(ない)」は男性の方が高く、「女性の先輩や管理職が多くいた(いる)」は女性の方が高くなっている。

図 3-9 初職の勤め先の状況[性別]
初職が有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員]



(5) 初職からの離職状況

Q3-6. A社からの離職の有無と現在の状況を教えてください。なお、離職には、育児休業等の休職や、出向は含みません。(ひとつだけ)

学校を出てから仕事についていたことがある人(9726人)に対して、初職からの離職状況について聞いた。性別にみると、男性では、「現在まで継続してA社で働いている」が最も多く55.3%となっており、次いで「A社を辞めて、現在は別の勤め先で勤務している」が32.7%となっている。女性についてみると、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」が36.2%で最も多く、次いで、「A社を辞めて、現在は別の勤め先で勤務している」が32.3%となっている。

性・年齢別にみると、「現在まで継続してA社で働いている」の割合は、男女とも年齢が上がるとともに減少するが、40歳～44歳の男性では「現在まで継続してA社で働いている」が46.1%と最も多く、次いで、「A社を辞めて、現在は別の勤め先で勤務している」が38.4%となっているのに対し、40歳～44歳の女性では、「現在まで継続してA社で働いている」は10.4%であり、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」が39.7%と最も多く、次いで「A社を辞めて、現在は別の勤め先で勤務している」が38.5%となっている。

図 3-10 初職からの離職状況

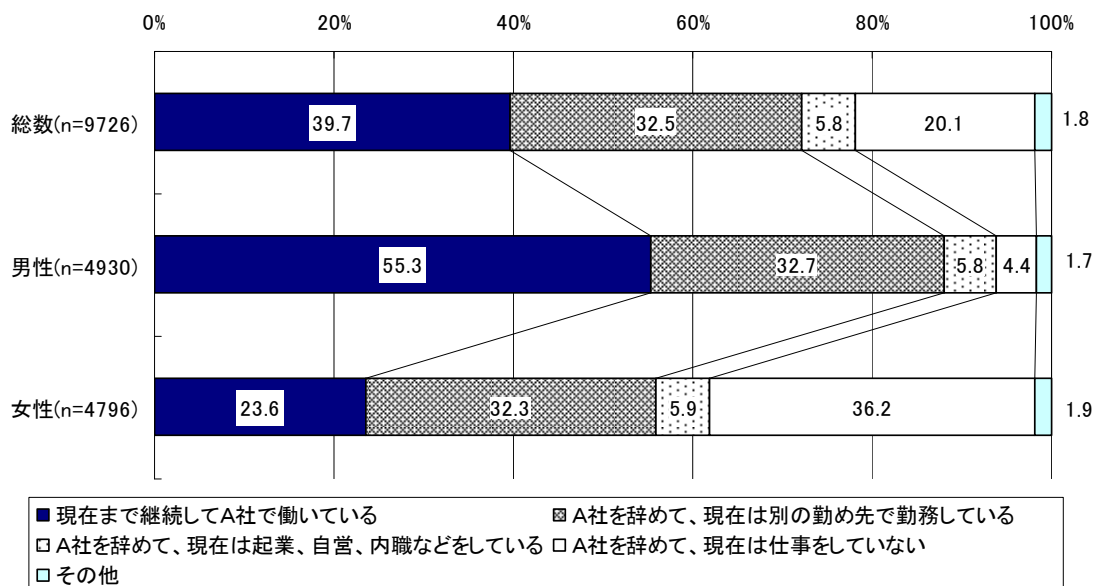


図 3-11 初職からの離職状況[性・年齢別 男性]

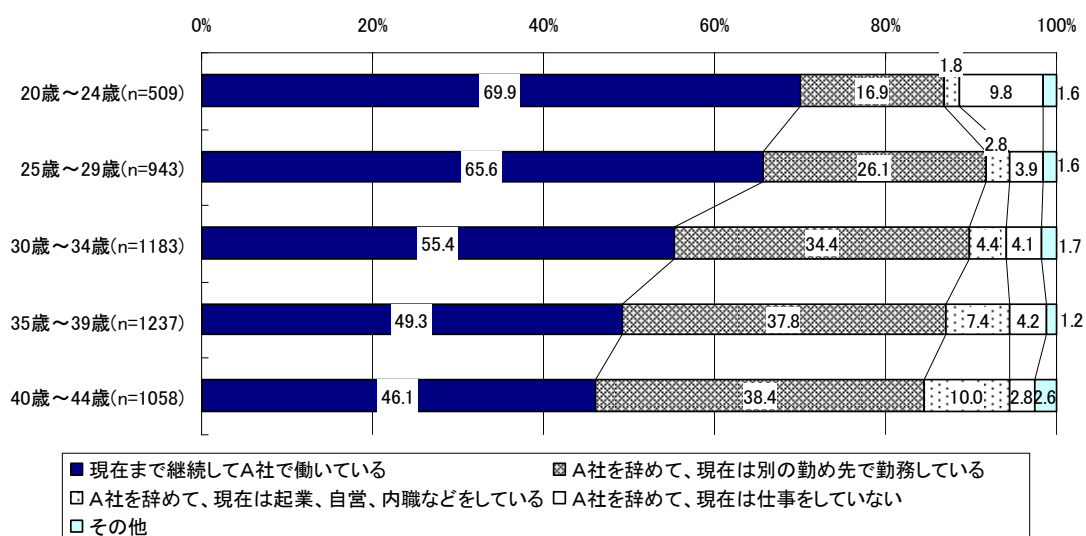
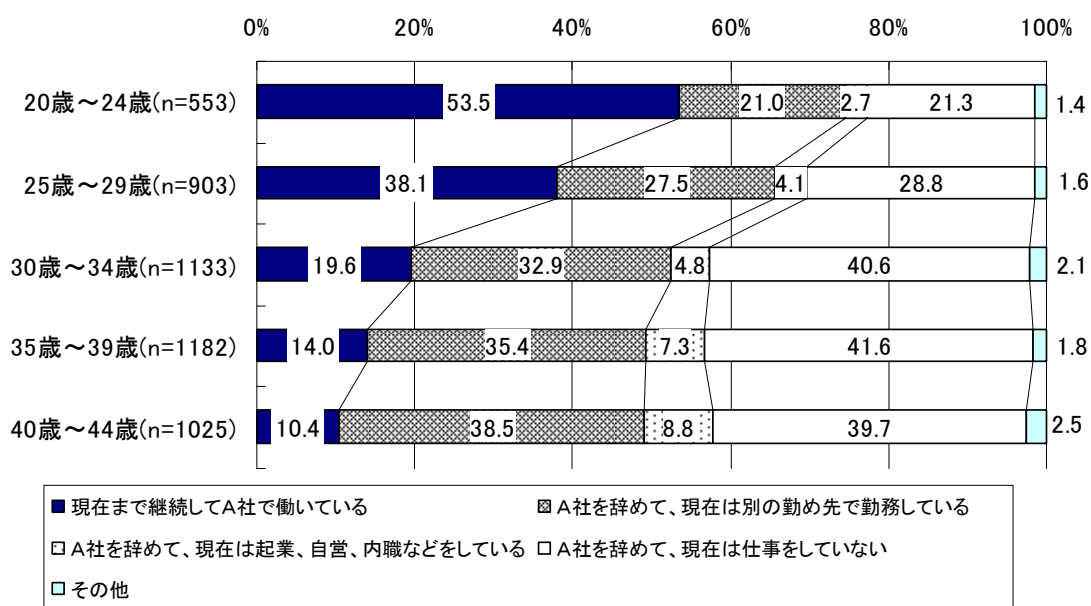


図 3-12 初職からの離職状況[性・年齢別 女性]



(6) 初職と比べた現職の難易度

Q4-7. 現在の仕事は、先ほどの質問のA社での仕事と比べて、より難しい、あるいはより責任のある内容だと思いますか。A社での勤務を現在まで続けている方は、現在の仕事と初めて仕事についてからの最初の5年間の仕事を比較して教えてください。(ひとつだけ)

現在仕事をしている人(7771人)に対して、初職と比べた現職の難易度について聞いた。性別にみると、そう思う計(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は、男性では48.9%となっているのに対し、女性では39.3%となっている。

性・就業形態別にみると、男性の内職/自ら起業、自営業/自営の家族従業者では、そう思う計が6割を超えている。また、男女とも、有期契約社員、嘱託社員/パート、アルバイト/派遣社員で、そう思わない計(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)の割合が他の就業形態と比べ高くなっている。

図 3-13 初職と比べた現職の難易度

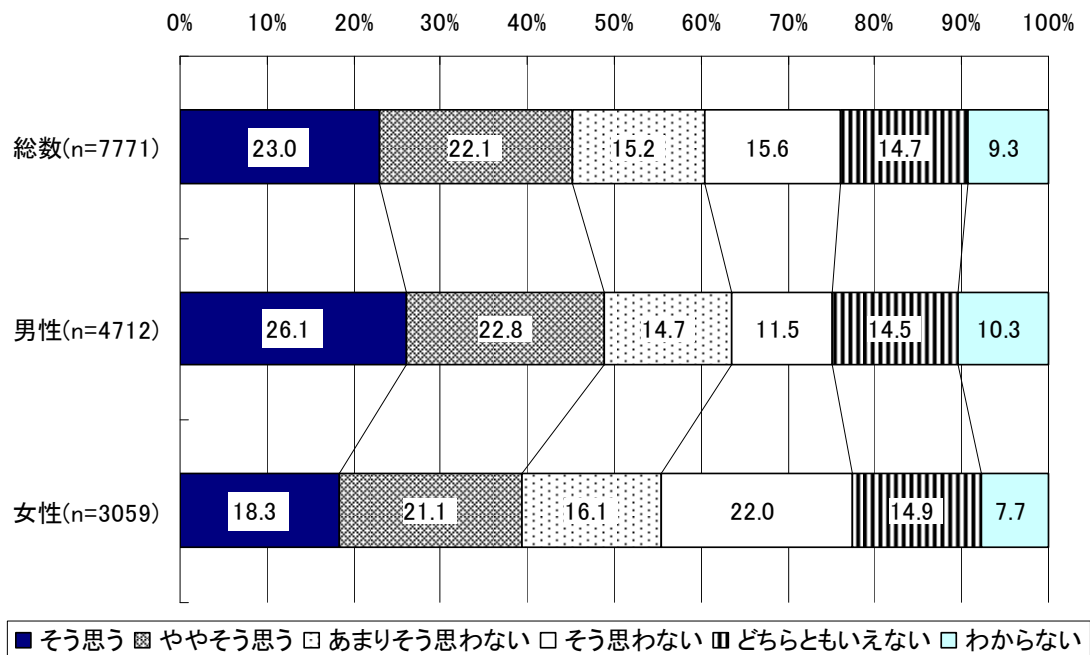


図 3-14 初職と比べた現職の難易度[性・就業形態別 男性]

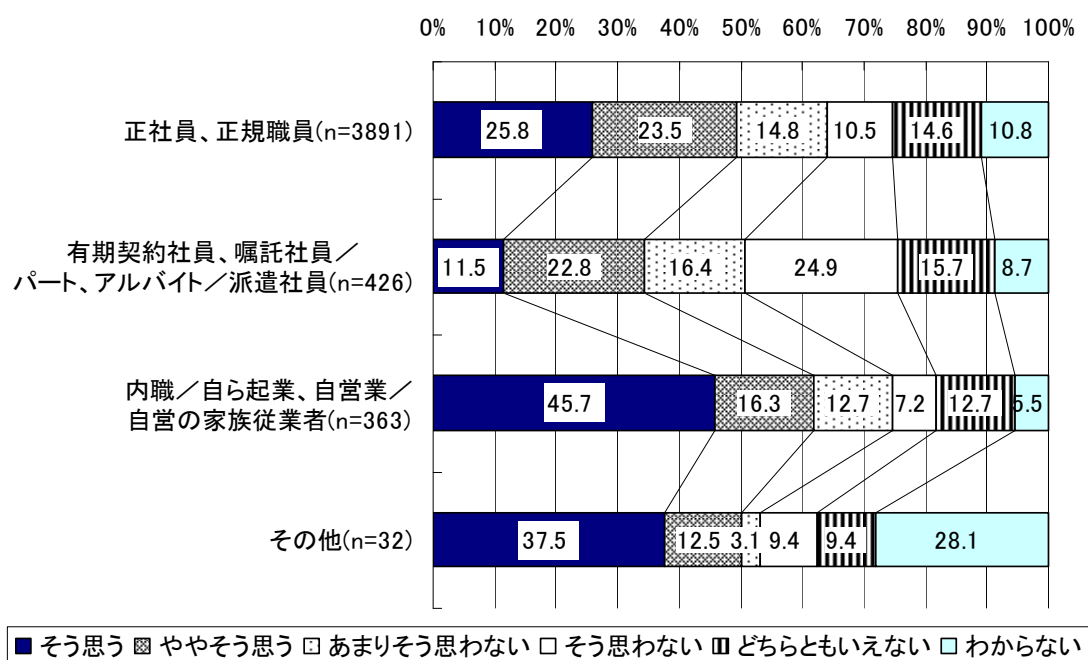


図 3-15 初職と比べた現職の難易度[性・就業形態別 女性]

